バリアブルルーフラック J-Mサイズ 取扱説明書

このたびは、シーエルリンク製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

製品を正しく安全にご使用いただくために、あらかじめ本書をよくお読みのうえ、内容をご理解ください。

商品内容

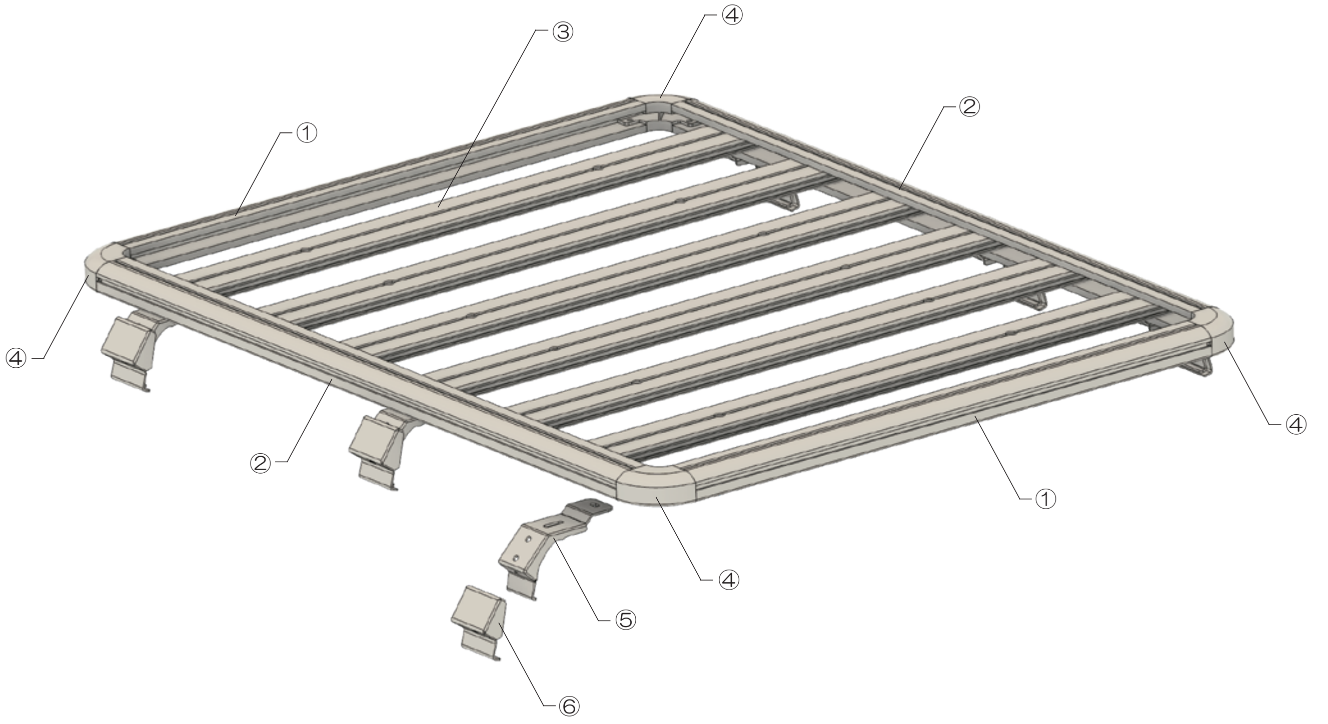
番号	名　称	略　図	数　量
①	フロント・リアフレーム		2
②	サイドフレーム		2
③	センターフレーム		6
④	コーナーフレーム(うち1点はロゴプレート付き)		4
⑤	固定用ブラケットA		6
⑥	固定用ブラケットB		6
⑦	本体組み立て用スクエアナット		8

番号	名　称	略　図	数　量
⑧	ハネ付きスクエアナット		10
⑨	アイボルトリング		4
⑩	キャップボルト M8x20	-	6
⑪	キャップボルト M8x25	-	6
⑫	キャップボルト M8x40	-	8
⑬	キャップボルト M8x45	-	6
⑭	六角穴付きトラスボルト M8x30	-	6
⑮	平ワッシャー(大) M8	-	16
⑯	平ワッシャー(小) M8	-	20
⑰	スプリングワッシャー	-	36
⑱	六角レンチ(5mm・6mm)	-	2
⑲	固定用ブラケットスペーサー	-	6

適合型式

SUZUKI ジムニー JB64 / ジムニー シエラ JB74 / ジムニー ノマド JC74

組み立て配置図



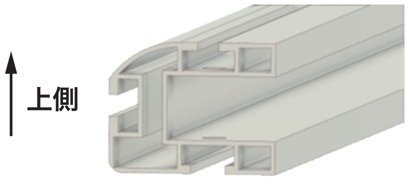
取り付け要領

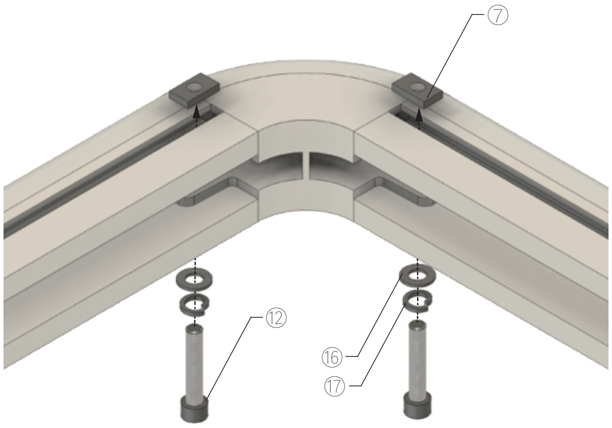
1 フレームの組み立て

●右図を参考にフロント・リアフレーム、サイドフレーム、コーナーフレームを付属のボルト類を使用して仮締めします。

POINT **コーナーフレームは4点あり、そのうち1点はロゴプレート付きです。お好みの位置に配置してください。**

POINT **各フレームには上下の設定があります。下図を参考に作業を行ってください。**



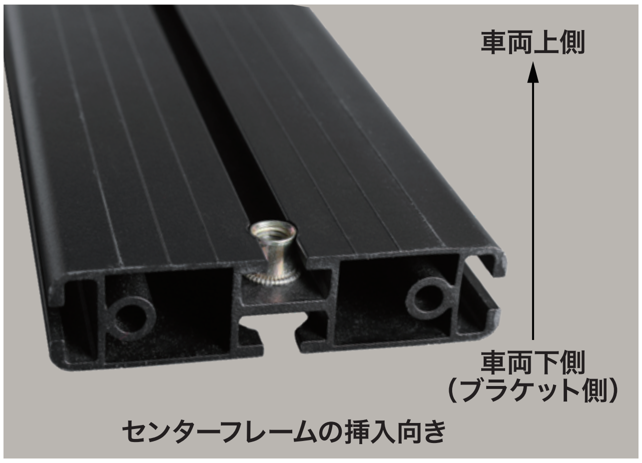


2 センターフレームの組み立て

❶センターフレームをサイドフレームの溝に挿入します。

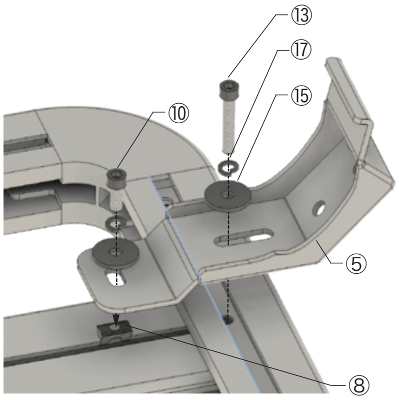
POINT **右図を参考にセンターフレームの固定用ナッターの向きに注意して挿入してください。**

POINT **固定用ブラケットAが装着されていない箇所には挿入前に付属のセンターフレームスペーサーを装着してください。**



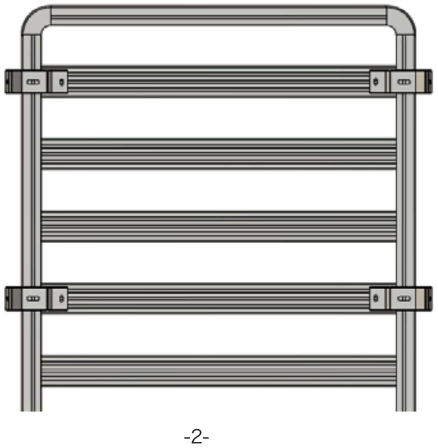
❷下図を参考にサイドフレーム、センターバー、固定用ブラケットAを付属のボルト類を使用して仮締めします。

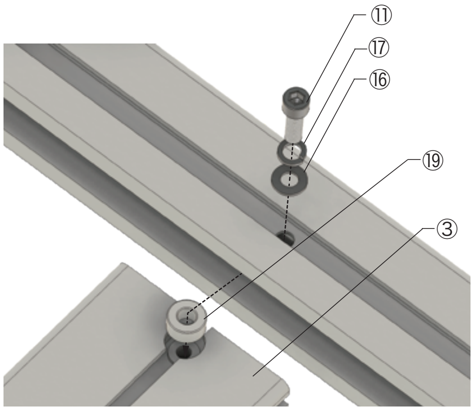
POINT **固定用ブラケットAは等間隔に配置します。(センターフレーム2本間隔)**



※⑧はセンターフレームの溝に挿入

車両フロント側



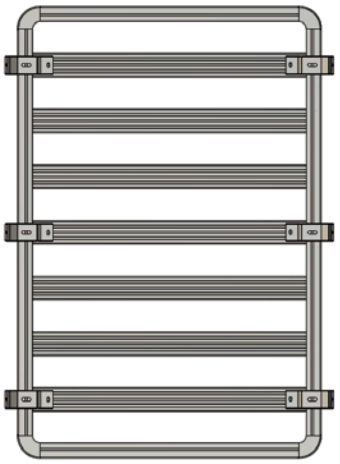


※⑲はフット部分には装着しません

2 の続き

❸❶の反対側にフロント・リアフレーム、コーナーフレームを付属のボルト類を使用して仮締めします。

POINT **作業内容は「❶フレームの組み立て」と同様です。**



3 各ボルト本締め

●ルーフラック本体にねじれがないことを確認して、固定用ブラケットA以外のボルトを本締めします。

A オプションガードの組み立て(オプションガード取り付け時)

●オプションガードを取り付ける場合は、4ページ以降を参考に組み立ててください。

4 車体への取り付け

❶固定用ブラケットAの位置を微調整しながら、ルーフラックを車両ルーフのレインガーターに乗せます。

⚠注意 **純正2トーンカラーの一部車両は、固定用ブラケットAと重なる部分の純正レインガーターモールをカットする必要があります。**

⚠注意 **製品の落下による事故や車両の損傷を防ぐため、必ず2人以上で作業してください。**

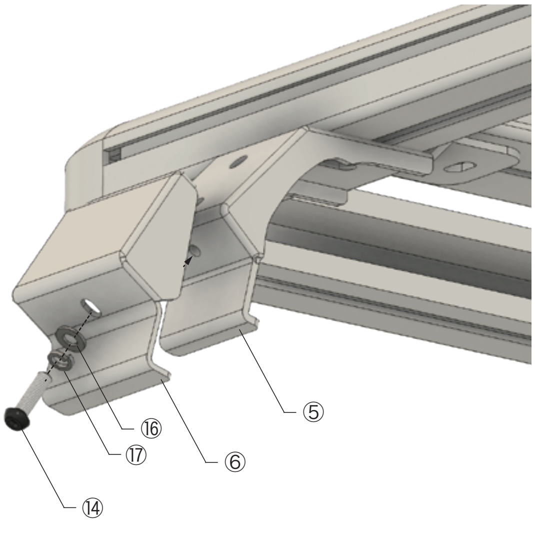
❷純正レインガーターに固定用ブラケットAがしっかりと着する位置にくるよう、全体のバランスを調整します。

POINT **車体とルーフラック左右位置にも注意してバランスを調整してください。**

❸右図を参考に固定用ブラケットBを固定用ブラケットAに付属のボルト類で仮締めします。

❹固定用ブラケットA→固定用ブラケットBの順番でボルト類を本締めします。

⚠注意 **固定用ブラケットBのボルトの締め付けトルクに注意してください。トルクが強すぎると、純正レインガーターの変形を、トルク不足はドアとの干渉やルーフラックの脱落など、トラブルの原因となります。**



6 最終チェック

●ルーフラックがしっかりと車両に固定されていること、ドア開閉時にドアとの干渉がないことを確認して作業完了です。

アイボルトリングの取り付け要領

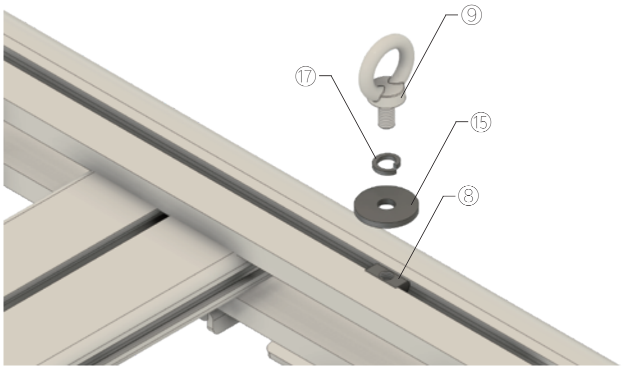
❶右図を参考にアイボルトリングをルーフラックに装着します。

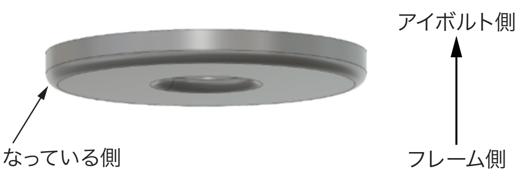
POINT **アイボルトリングは、ルーフラックの上面と側面の溝に、任意の位置に装着可能です。**

⚠注意 **平ワッシャー(大)の装着向きに注意してください。誤った向きに装着すると、ルーフラックとの接触面に傷が付くおそれがあります。**

❷アイボルトリングが確実に固定されていることを確認してください。

⚠注意 **定期的に固定されているか確認してください。固定不良が発生した場合、積載物の落下など重大な事故の原因となります。**





平ワッシャーの装着向き

＜メモ欄＞

オプションガードの種類

❶センターブラケット

❷エンドブラケット

❸コーナーガード

❹ストレートガード450mm

❺ストレートガード1054mm

オプションガード装着前に

●各ブラケットのルーフラックへの固定は付属のハネ付きスクエアナットを使用します。
フロント・リアフレーム、センターフレーム、コーナーフレームの上部または側面にある溝にハネ付きスクエアナットを固定してください。

POINT **溝に対してハネ付きスクエアナットを斜めにスライドして挿入することで、任意の位置でハネ付きスクエアナットを溝にはめ込むことが可能です。**

ハネ付きスクエアナットの装着や取り外しが難しい場合、溝の丸く切りかかれた箇所で挿入・取り外しを行ってください。

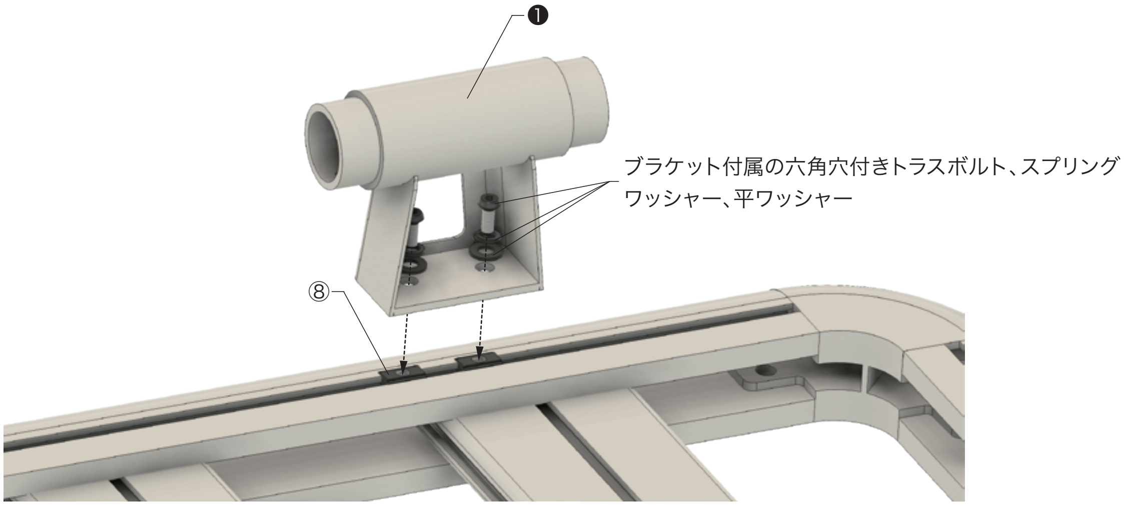
⚠注意 溝の丸く切りかかった箇所ではハネ付きスクエアナットは固定できません。

溝に装着されたハネ付きスクエアナット

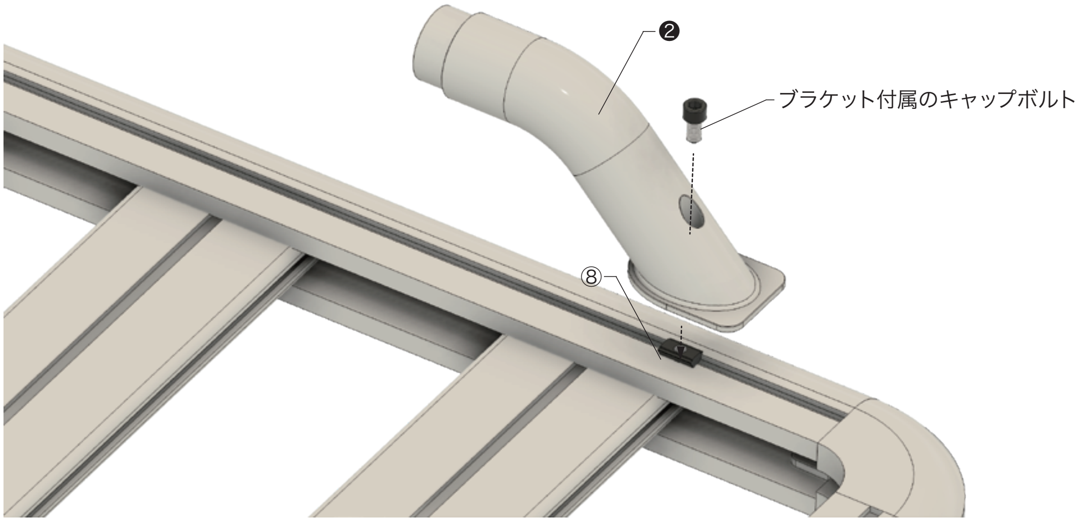
溝の丸く切りかかれた箇所

オプションガードの取り付け要領

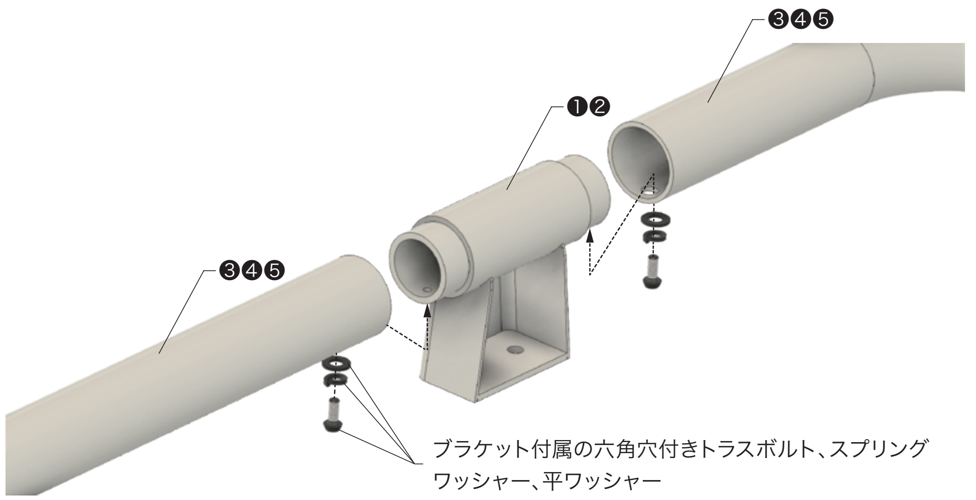
センターブラケットの固定



エンドブラケットの固定

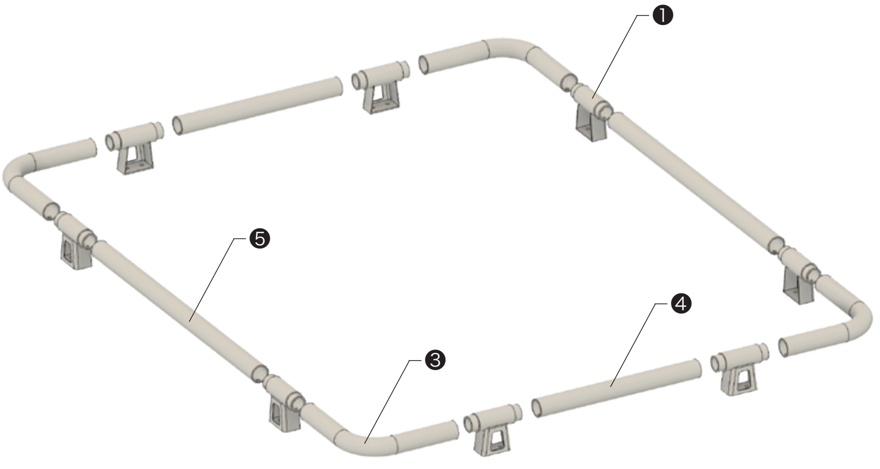


ブラケットとガードの固定

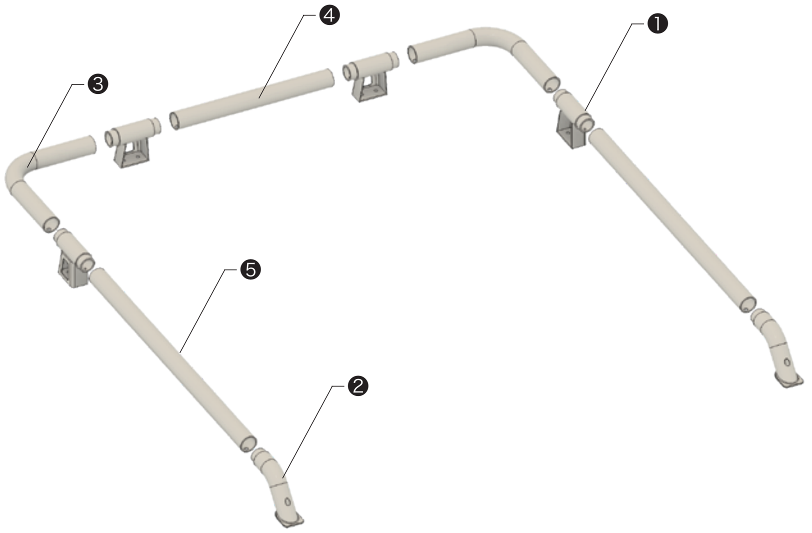


オプションガードの組み合わせ例

オールアラウンド仕様

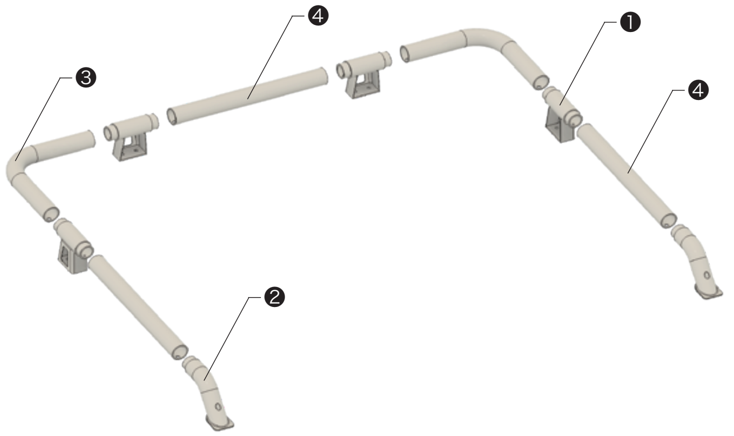


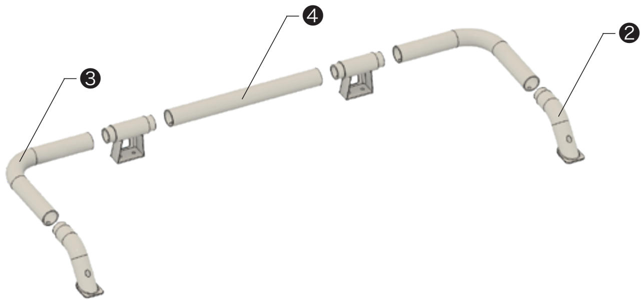
ハーフアラウンド仕様

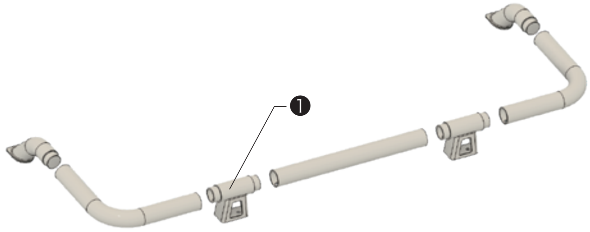


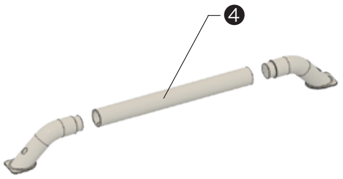
サイドガード仕様

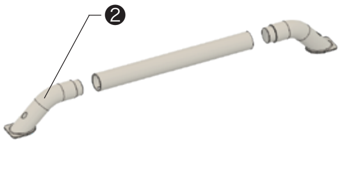
OTHER

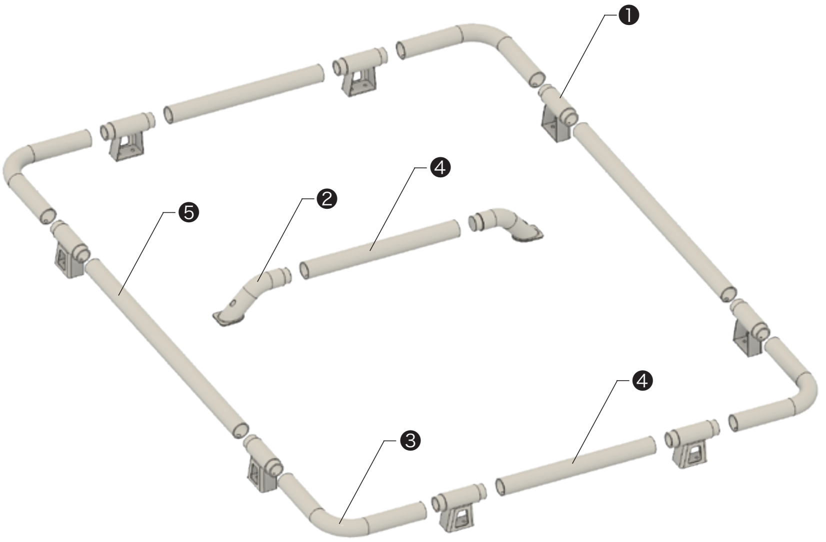












⚠注意

●ルーフラックの取り付け作業は、必ず2人以上で行ってください。

●走行前および走行後には、必ず全てのボルト類の緩みやガタつきを点検し、必要に応じて増し締めしてください。
緩みやガタつきがある状態で走行すると、ルーフラックの脱落や事故の原因となります。

●ルーフラック装着時および積載時は車高が高くなります。法定速度以下で安全運転を行い、急ハンドル・急発進・急ブレーキは避けてください。また、屋根付き駐車場・トンネル・高架・木の枝など高さ制限のある場所では十分に注意してください。

●走行前には、製品にクラックや破損がないことを必ず確認してください。破損がある場合は使用を中止してください。
そのまま使用すると積載物の落下など重大事故につながるおそれがあります。

●落下物は落とし主の責任となります。運行前に必ず積載物が確実に固定され、安全に運行できる状態であることを確認してください。固定が不十分な場合、積載物が落下して後続車や歩行者を事故に巻き込むおそれがあります。

●積載物は高く積み上げたり、片寄らせたり、斜めに積載しないでください。誤った積載方法は積載物の落下を招き、事故の原因となります。

●悪天候（強風・豪雨・降雪など）や悪路走行時は、積載物の固定状態をより頻繁に確認してください。

●ルーフラックの長さ・幅を超える積載はできません。

●長時間車両から離れる場合は、必ず荷物を降ろしてください。

●製品を装着したまま洗車機を使用しないでください。車両や洗車機の故障・破損の原因となります。
洗車機を使用する際は、ルーフラックを取り外してください。

●車両ルーフの耐荷重を超える荷物は積載しないでください。必ず車両の取扱説明書をご確認ください。
車両ルーフやルーフレール、レインガーターの変形などについては保証いたしかねます。

●本製品の改造は行わないでください。

●危険ですので、ルーフラックの上に人が乗らないでください。

●動物、可燃性・爆発性物質、その他の危険物はルーフラックに載せないでください。

C.L.LINK
CUSTOM PARTS